

<資料> 「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト

2020年度「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト報告

柿内真紀・大谷直史

はじめに

教員養成センターでは、2020年度後期に、今年度で通算7年目となる「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト(2020年度学長裁量経費(教育推進経費))を企画実施した。プロジェクトは以下のように、<学び>、<遊び>、<つなぐ>の3つで展開している。

なお、今年度は新型コロナウイルス対策のため、対面とオンラインの併用でおこなった。

<学び> 現職教員の方々から、授業づくりやクラスづくりの極意を学ぶこと、教職に就いた後に続く、教員としてのさまざまなキャリア形成のあり方を学ぶことを目標として、授業づくり・学級づくりに力量のある現職教員等を講師に招いた「学びの教室」および、採用後3~4年の若手教員等を講師に招き、教職への不安や希望についてざっくばらんに語り合う「学びの座談会」(6年目)を実施した。これらのプログラムでは、教職関連授業と連携した内容やそれらの授業を補完する企画を組み、目指す教師像を参加学生が模索する機会とした。また、本学出身の現職教員を講師に含むことによりロールモデルの提供も目指したものである。講師の招へいについては、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会と連携している。

「学びの教室」(全4回) 参加者数のべ188人

第1回 10月20日(火) 5限

講師：角田弘枝 教諭(鳥取市立中ノ郷中学校)(生徒指導)

第2回 10月26日(月) 5限

講師：山中歩美 教諭(鳥取市立こじか幼稚園)(幼児教育)

第3回 11月 2日(月) 5限

講師：西村佳代 教諭(鳥取県立白兔養護学校)(特別支援教育)

第4回 11月17日(火) 5限

講師：滝波佑介 教諭(鳥取市立賀露小学校)(学級経営)

「学びの座談会」(全1回) 先輩教師(若手教員)と語る会(対面のみ) 参加者数14人

11月10日(火) 5限

谷口 彩 教諭(鳥取市立稲葉山小学校)

花原 慧史 教諭(鳥取市立湖東中学校)

(コーディネーター：教員養成センター特任教員 片山敬子)

<遊び> 目的なく遊ぶことが結果的には学びにつながっていることや、遊びが学びを活性化させることもあり、遊びと学びは対極にあるように見えて実は密接につながっている。今年度はプログラミング教育をテーマに実施した。第1回は小学校で行われているプログラミング教育の実際を学び、それをふまえて第2回は学生たちの作ったボードゲームを用いた教材を発表する機会をもうけた。

また、今年度も本を入りに口に教職志望者の視野を広げ、学習のデザインやアイデアの幅をひろげていくことを意図した「ブッククラブ」を、本で遊ぶ、本と遊ぶ・読む・語る・楽しむ、として企画したが、例年のような小グループによる対面での活動が、新型コロナウイルス対策を考慮したために今年度はできなかった。代わって、教職関連授業(1年次必修授業)において、教員養成センターのライブラリー蔵書を用いて、「Black

Lives Matter」 「食」 など、テーマを設定した関連図書紹介や、受講者による図書紹介をおこなった。

「遊びの教室」(全2回)(対面のみ)参加者数のべ33人
第1回 11月16日(月)5限 「プログラミング教育」
講師：宗田八郎 教諭(鳥取大学附属小学校)
第2回 12月7日(月)5限
教職実践演習受講者によるプログラミング教材(ボードゲーム)発表
(コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史)

「ブッククラブ」(教職関連授業内随時)対象授業受講者数49人
(コーディネーター：教員養成センター教員 柿内真紀)

<つなぐ> 子どもたちが育っていく社会は多様化、グローバル化している。そこには、地域ごとの課題もあれば、ある社会全体、地球全体の課題もある。そして、学校は社会の変化を反映する。学校には不登校や非行、虐待や発達障害、異なる文化など、生活上のさまざまな課題が持ち込まれる。そうしたことを前提にしながら、これからの社会ではたらく教員として、どのようなつながりを持つのか/つながるのかを考える機会として、毎年度<つなぐ>を企画している。今年度は、①高等学校における生徒支援、および近年鳥取県東部地区で特に設置が相次いでいる義務教育学校をテーマにパネリストを招いた、「パネルディスカッション」のシリーズ(「つなぐパネル」)、②グローバル人材としての教員(または、グローバル人材を育てる教員)の観点から教員のキャリア形成を促すことを念頭に鳥取県内の海外日本人学校(在外教育施設)経験教員を講師に招いた教室、どのような教員が求められているのかをテーマに鳥取県教育委員会主査を招いた教室などからなる「つなぐ教室」シリーズ、③大学での教職の授業と教員採用とをつなぐことを意図し、教員採用試験を経験した4年生が後輩に語る「つなぐ座談会」(2年目)を実施した。

「つなぐパネル」(全2回)参加者数のべ187人 (コーディネーター：教員養成センター教員 石本雄真)
第1回パネル 10月30日(金)5限 テーマ「高等学校における生徒支援」
<パネリスト> 西谷智子 教諭(鳥取県立鳥取湖陵高等学校)
森川真吾 教諭(私立青翔開智高等学校)
第2回パネル 11月14日(木)5限 テーマ「義務教育学校の実際」
<パネリスト> 林田卓也 教諭(鳥取市立福部未来学園)
稲垣彰浩 教諭(鳥取市立江山学園)

「つなぐ教室」(全4回)参加者数のべ240人 (コーディネーター：教員養成センター特任教員 片山敬子)
第1回 10月7日(水)5限
講師：片山敬子(教員養成センター特任教員)
第2回 12月3日(木)5限
講師：西尾美帆 教諭(鳥取市立河原第一小学校) <シンガポール日本人学校クレメンティ校>
第3回 12月4日(金)5限
講師：山根 聡 教諭(八頭郡若桜町立若桜学園小学校) <バンコク日本人学校>
第4回 12月8日(火)5限
講師：長尾芳春 主査(鳥取県教育委員会教育人材開発課)

「つなぐ座談会」(全1回) 4年生が後輩学生に語る会(対面のみ)参加者数7人
12月16日(水)5限(コーディネーター：教員養成センター特任教員 片山敬子)

柿内真紀(鳥取大学教員養成センター) ※「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト代表
大谷直史(鳥取大学教員養成センター)